

ミネソタ便り

04・12・14 平野 茂樹

我が性格にぴったり

.....

元気でしょうか？ 私は、いたってげんきです。思っていた通りこのアメリカの風土が合っていたようです。

言葉を筆頭に食習慣など生活上不便なことが一杯あるはずなのに、風土が合っていたと言うのは、多少強がりではありますが、実はある二つのことに気付いたのが元気である大きな理由だと思っています。

ひとつは、言葉からの解放です。私の周りには日本語を話せる人は一人もいません。もう2ヶ月近く日本語から遠ざかっていますし、しゃべっていません。メールばかりで電話は不経済なのと時差で昼夜がさかさまなので使っていませんので。

周りから聞こえてくる言葉が地方なまりの英語ばかりしかないので聞こうと思って集中しない限り耳からの音で思考回路が動き出すことはいまのところありません。負け惜しみでもありますが、まだ、未熟なListening能力が、私を言葉のストレスから解放してくれているのです。いままでは聞かなくてもよいことが、自然に耳に入り自動的に思考回路が働きだしストレスがたまっていたような気がします。いまは全くストレスがたまりません。不思議ですね。

.....

ふたつめは、徹底したアメリカの個人主義が私に合っていることです。Host familyでもHost schoolでもすべて確認事項が直接話法であることです。たとえば、校長に聞けばすべて分かると思って聞くと、それは、Cookのことだから Barb(料理長)に聞いてくれ。それは3rd gradeの話だから Coke(3年生の先生)に聞いてくれ。と徹底して役割を持ったひととの直接話法になります。

Familyの夫婦のことも、それはMarlyn(夫)に聞いてくれ、それはSis(妻)に聞いてくれと物事の確認は個人単位で直接話法になることです。

「誰々が何々と言っていた」という表現や「それは何々だと思う」と言うような会話が



一切ないことです。日本では自分に都合の良い表現をする人や全くその反対の人から物事を集中的に聞いたり聞かされたりしていたような気がします。この直接話法主義は無駄な動きのずれが全く生じない良い主義のように思われます。これがとっても性に合っているのです。

この二つが現在、私に新鮮さを感じさせ元気にしてくれているのです。

ふと、考えました。もしかしたら日本で「私は、わずらわしいので」と言って引きこもりがちな人は、アメリカでは、とても社会的になり、日本ではうまく人間を取り仕切っていた人が、アメリカでは全く立場がなくなるのではと？

.....

恐縮ですが、話はがらっと変わっちゃいます。

2ヶ月ばかりの間にアメリカの弱点を二つも感じ、女性と若者に話してみると（簡単に話すとは書いたが事実は涙ぐましい言葉の努力がかけにありますことを申し上げておきますが）賛同を得、年取った男性以外のほとんどの人から支持を受けていることがわかりました。

ひとつは、いまから準備し、いわゆる玄関の下駄箱（靴箱）をアメリカに普及すれば確実に億万長者になること請け合いの話です。それは、アメリカが頑なに守ってきた靴のまま家の中で生活する習慣の崩壊の兆しです。

集中暖冷房、掃除、育児などで家庭用品の変化がおきており、靴のままで過ごす不都合さがこのところ極端に見直されつつあることです。玄関で靴を脱ぐ家庭が増えているようです。

.....

ふたつめは、敗戦を知らないアメリカが開拓時代から使い続けてきたアメリカの尺貫法、鯨尺方式です。重さはオンスにポンド、距離や速度はマイル、長さはインチとフィー

トとヤード、広さはエイカー、液量はガロン、気温はF（ファーレンハイト）、コピー用紙はA、Bサイズと異なるもの、1分は60秒を使わず100を使う。などなどです。

いわゆるメートル法からことごとく異なっている国なのです。これでよくオリンピックに参加していると思います。この点私には、全く不便な国です。

アメリカは、世界標準に一番、積極的でなければ世界のリーダーになれないことをいまから自覚し、教育から変え、50年掛けてメートル法にならなければ中国、日本、インド、パキスタン、インドネシアなどというアジアの人口大国（ベストテンのうち6つがアジアです）というこれからの消費国を相手に経済競争は出来ません。



もうひとつ調子に乗って付け加えるならば、食べる事へのあまりにも寛大すぎる姿勢です。いくらキリスト教の教えとはいえ限度が

あります。アメリカでは餓死などは考えられませんし、働かなくても「主（神）のもと」で食べてゆけます。特に地方は極端です。先進国で唯一人口が増加しているアメリカ。自然の恵みに甘えているように思えます。

書き始めるときりがないので今日はこのへんにしておきますが、ときどきは、変な人の変な話を聞いてあげてください。自分でも十分自覚していますので。